

Git / GitHub 入門講座

RICORA Programming Team

はじめに



- バージョンコントロールシステムであるGitの使い方を学ぼう
- Markdownの使い方と二本立てで大変だと思いますが...

Gitってなに?



- " Git is a free and open source distributed version control system designed to handle everything from small to very large projects with speed and efficiency.
- 要約すると「Gitは早くて効率的なオープンソース分散型バージョンコントロールシステム」
- それって実際どういうこと? 👺

Gitが作られた背景

#RICORA

- 最近人間味が出てきたことLinuxの製作者Linus Torvaldsが作った
- メールで送られてくるパッチを早くマージしてかつトラッキングする ツールがほしかったらしい



Linus Torvalds (©Gigazine.net)

メリット

#RICORA

- 早い
 - サーバーから拾ってくるときにそんなに時間がかからない
- ログを追える
 - 。このファイルはどこで変更されて...みたいなことがわかる
- 複数人での開発に向く
 - 各人が開発した成果を持ち寄りやすい
- 管理するファイルを選べる
 - .DS_Store とかを含まないようにできる

#RICORA

Gitを用いた開発フロー

- 0. clone とか fork & ブランチ分ける
- 1. add & commit 実質的な開発
- 2. push リモートサーバーに現在のリポジトリの状態を通知
- 3. Pull Request (GitHub利用) main / masterに機能追加してください!と頼む
- 4. merge 機能追加
- 5.0-4の繰り返し

ここでGitが使えるか確認



- あとで演習があります。
- git コマンドを実行して、オプション一覧が出てくることを確認。
- だめそうなら近くの人に助けてもらってね

Clone & Fork



- clone はその名の通りクローン=コピーをとってくる
- めっちゃ clone することが多い 基本構文は

\$ git clone (repo url)

- fork はもとのリポジトリを自分のとこにコピー
 - 。 そこから自分で機能追加とかできる

Clone & Fork



- これで開発の準備ができる
- 例えば log を見てみる (あとでこれが何をするか説明)

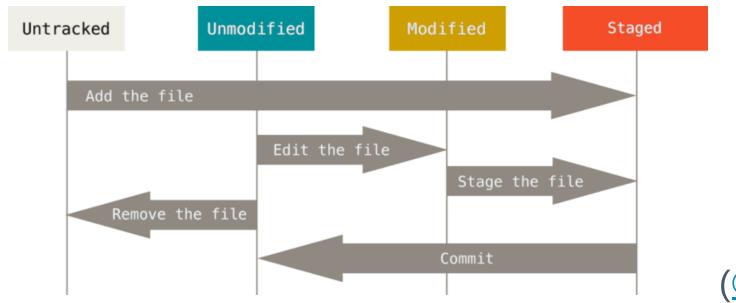
\$ git log -p

○ なんかログっぽいのが出る

#RICORA

Add & Commit (大事!)

- add: Gitに管理を頼む 変更を加えたファイルを選ぶ
- commit : 現在のスナップショットを保存 このスナップショットについてメッセージも書く(ログ)



(<u>©git-scm.com</u>)

Add



- どのファイルを git に管理してもらうかを指定できる
- 絶対に無視したいファイルもある → .gitignore で指定
- 1. ファイル指定で add (推奨)

```
$ git add (something)
```

2. ファイル全体を add (非推奨)

```
$ git add .
```

Commit



- 今の状態を保存するように頼む
- コミットログを書く=なにを変更したのかを書く
- ・コマンドは

```
git commit -m (message)
```

• 過去のコミットはこれで追う

git log

Branch



• これだけだとDriveとかとあんまり変わらない 特色はBranch

Gitのブランチ

- ブランチ?
 - 。別の世界線 = 別の履歴のこと ヽ(*゚д゚)ノカイバー
 - ブランチごとに add / commit する
 - 履歴を分離させることで機能別に開発ができる
- 機能ごとにBranchを分割 => master / mainに追加を繰り返す
 - 例: docs/readme とか

Branch



• 切り替え

```
git switch (branch name)
```

• 新規作成

```
git switch -c (branch name)
```

• あとは man git-branch で検索

んにゃび...よくわかんないっす



- それはそう
- Git
 - 。様々なブランチにコミット → mainとかに取り込んでもらう コミットの履歴がある
- Driveとか
 - 適当にファイルを入れる → 何が変更されたのかわからない 規模がでかくなると削除とかでぐちゃぐちゃになりがち
- ➡ Git使ったほうがよさそう(と思ってほしい)

リモートサーバーとかの話



- もちろん当時からLinuxは複数人で開発されていた
- Gitの威力はリモートサーバーがあるからこそ発揮される

Clone



• 再掲。リモートサーバーからリポジトリごと拾ってくる。

git clone

Push



- サーバーに変更分を通知
- あっち側にもBranchがあるので指定が必要(最初だけ)
- 1. 現在のBranchからPushしたことがない

git push --set-upstream (remote branch name)

2. Pushしたことがある

git push

#RICORA

Fetch / Pull

ここらへんは名前だけ一旦覚えておく

- fetch
 - 。 リモートサーバーのBranchのHEADを拾ってくる。
- pull
 - Fetch & Merge する。とりあえず更新するときに使うみたいなイメ ージ

Pull Request



さっきちょろっと出てきたあれ。既存のものに何か追加するときに使う

Pull Requestの出し方

- 0. 先にブランチを push しておく
- 1. githubのリポジトリの右上の Pull Request をクリック
- 2. 左上のcompareから自分のブランチを選ぶ。baseはmainにする
- 3. 変更したことの大枠を書いて、 Submit Pull Request をクリック
- 4. githubのリポジトリに戻って、 Pull Request の欄に自分が書いたものがあるか確認

全体の総括



- 0. clone & ブランチ分ける switch
- 1. add & commit 実質的な開発
- 2. push リモートサーバーに現在のリポジトリの状態を通知
- 3. Pull Request (GitHub利用) main / masterに機能追加してください!と頼む
- 4. merge 機能追加
- 5.0-4の繰り返し

余談: Pull Requestの出し方



- 実は出し方が2種類ある
 - ○ブランチを使う方法

別のブランチに変更を加える

用例: 複数人での開発

○ fork する方法

既存のリポジトリを複製して自分で変更を加える 用例: OSSとかの機能改善

• 今回は上の方です・サークルでなんかやるときはブランチで

やってみよう



実際に触ってみよう

ジ

やること

- 1. 環境構築して git を使えるようにする
- 2. 演習とかで git に触れてみる

準備



環境構築

- パッケージマネージャーを導入する
- WindowsユーザーはChocolatey、MacユーザーはHomebrew
- git, python, hugoなどのCLIツールをパッケージマネージャー経由でインストールする

Windowsユーザーはこちら

Macユーザーはこちら

準備



GitHubアカウントの作成

ここから登録

RICORA Organizationへの招待

GitHubのアカウント名を教えてください!

(部員は<u>ここから</u>新入部員をMemberで招待)

準備

#RICORA

GitHub上にsshキーを登録

- 1. ホームディレクトリで ssh-keygen -t ed25519 を実行
- 2. なにも入力せずEnter
- 3. 公開鍵 ~/.ssh/id_ed25519.pub の内容をコピー
- 4. ここに公開鍵を登録

詳細はalg-wikiをみよう

やってみよう



- 演習を作りました
 - https://github.com/RICORA/git-tutorial-2022.git
 - 。 README.mdにやることが書いてある
 - 。 たぶん破壊できないけど破壊しないでね
- わかんなかったら聞いて
- スライドを開いて参照しよう

やってみよう



- Git練習用のリモートリポジトリを用意しました
 - https://github.com/RICORA/sandbox
 - 。こっちは何をやっても ox
 - でも履歴全消しとかはやめてね
- 座学だけだと意味不明だと思うので、とりあえず使いながら覚えよう
- わからないことがあったら近くの人にきいてね

ご清聴ありがとうございました

RICORA